アホ×あほ×癒し系×哲学者

原子カムラ境界線上の「哲」人対話

第10回

ー　いつもの4”哲”（あほ × アホ × ”癒し系”×”哲”学者）　ー

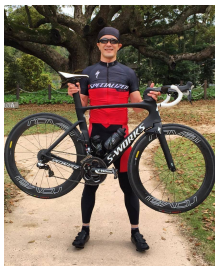
飯田哲也
環境エネルギー政策研究所

澤田哲生
東京工業大学助教

北岡哲子
日本文理大学特任教授

小川仁志
哲学者、山口大学准教授

シカイ



西嶋能成
在野の体力派「哲」人
市民エネルギーやまぐち

ISEP所長・飯田『哲』也氏と東工大助教・澤田『哲』生氏の原子力をめぐる推進か脱かの〝二項対立〟を超えるダイアローグ（対話）――テーマは時勢に応じたもの、そうでないもの〝不易流行〟を問わず森羅万象に亘る。都度、テーマおよび話題の振向けはコーディナータの掌中にある。ともに同年代で同時代を関西にある〝あほ〟の掃き溜めである某大学ですごし、名前に『哲』を含むところから『哲』人＝あほと透かし読むこととした。『第3回目』からは、北岡『哲』子氏、今回から「哲」学者・小川仁志氏を加えた、4人の「哲」人（＝あほ×アホ×”癒し系”×”哲”学者）で対話し原子カムラの境界線を探る。

概要

日時：2018年4月26日（水）19:30～21:00（19:15開場）
会場：環境エネルギー政策研究所（ISEP）
（東京都新宿区三栄町3-9 iTEXビル、JR・東京メトロ四ツ谷駅徒歩6分）
主催：学術フォーラム・多価値化の世紀と原子力
共催：環境エネルギー政策研究所(ISEP)
傍聴方法：自由参加（定員15人程度）。参加費500円（予定）。
懇親会：開催で検討中。自由参加、近隣で実施。時価。
動画配信：同時配信予定。
Facebookページ：https://www.facebook.com/ahotetsutaiwa/
Youtubeチャンネル: https://www.youtube.com/user/ahotetsutaiwa

プログラム

テーマ
4・26「チェルノブイリの日」に考える福島問題

・チェルノブイリと福島は何が同じで何が違うのか
　ー事故の大きさ、事故処理コスト、事故対応・ガバナンス、放射線影響ー
・原発推進派と脱原発派の意見の共通点と相違点　など

お問い合わせ

ご参加の方は、道満までご連絡ください

ISEP担当：道満
東京都新宿区三栄町3-9 iTEXビル
電話（ISEP）：03-3355-2200
E-mail: dohman_haruhiko @isep.or.jp

東工大担当：澤田
東京都目黒区大岡山2-12-1 N1-5
電話（研究室）：03-5734-3062
E-mail: tetsuo @nr.titech.ac.jp